

「まちかに迫った第4回全国物理コンテスト 2008」

会 期：

第2チャレンジ大会(岡山)2008年8月3日～8月6日

会 場：倉敷市、岡山市 など

プログラム： 8月3日 開会式 講演会
8月4日 理論問題コンテスト
8月5日 実験問題コンテスト、
8月6日 表彰式(岡山大学50周年記念館)

主 催：物理チャレンジ・オリンピック日本委員会

共 催：日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、岡山大学、日本生物物理学会、電気学会、日本機械学会、岡山県、岡山光量子科学研究所、理化学研究所、日本科学技術振興財団

概要:物理チャレンジは、大学等に入学する前の主に高校生・中学生の皆さんを対象として物理の持つ面白さや楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテストです。第1回大会(2005年)と第2回大会(2006年)が岡山で開催されました。2007年はつくばで開催され、2008年はまた岡山県で開催されます。今年度は第1チャレンジに例年の約2倍の769名の応募がありました。6月15日に第一次選考が行われ、第2チャレンジ大会に参加する中高生約100名が選抜されました。8月3日から6日に合宿形式で行われる第2チャレンジで理論・実験問題を競います。開会式では、杉山直氏による「宇宙の現在・過去・未来」という公開講演会が行われます。また、会期中に、参加者に物理の楽しさを実感してもらう「物理ライブ」や岡山天体物理観測所見学等も予定されています。岡山県からも約8名が第2チャレンジに出場予定です。最終日8月6日の表彰式は、岡山大学50周年記念会館において、千葉学長や岡山県知事の出席の下に行われる予定です。この物理チャレンジ大会は、国際物理オリンピック日本代表選考を兼ねています。

岡山大学は、物理チャレンジ大会の現地実施や今年4月から岡山大学大学院自然科学研究科が開始した岡山科学大好きクラブの活動を地域の大学や高校と連携して行なうことで、全国の理科教育の先進的なモデルを目指します。

8月9日(土)には、自然科学研究科で第2チャレンジ実験問題の解説等を行う物理チャレンジ問題挑戦講座も開かれます。

(平成20年7月15日、定期記者発表資料 連絡先 自然科学研究科(理) 作田 誠:
第2チャレンジ大会現地実行部会長 TEL:086-251-7822,
sakuda@psun.phys.okayama-u.ac.jp)